

教 科 科 目	国語 国語 1	学 年	1 年	単 位	4 単位	担 当	恒住 典子
【科目の概要】 国語としての日本語を正しく身に付け、理解し、その運用能力を高めることを目標としています。 具体的には、話すこと・聞くこと、書くこと、読むことに関心を持ち、意欲的に取り組み、自分自身で考え、論述・発言できる力を身につけられるように学習します。							
【育成をめざす学力】 ①自学（予習・復習など）できる力 ②漢字・慣用句・古語・文法事項・古典常識・漢文句法などに関する基礎的な力 ③多様なテキスト（説明文・物語文・解説文・韻文・思想・史伝など）を読解する力 ④テキストに書かれていることを自分の知識や考え方、経験と結びつけて表現する力 ⑤出題形式に応じて解答できる力							
【評価基準・評価項目】 ・授業理解に必要な予習、復習を行うことができる。 ・漢字、語句、文法を習得し、正確に音読することができる。 ・登場人物の心情や状況を理解し、筆者の主張を読み取ることができる。 ・感想文や意見文を書き、自分の考えを表現することができる。 ・質問に応じて解答することができる。							
【年間指導単元・内容と学習活動】							
4 月	詩「朝のリレー」 物語「竜」						
5 月	説明「ペンギンの防寒着」 説明「クジラの飲み水」						
6 月	物語「空中ブランコ乗りのキキ」 随筆「字のない葉書」						
7 月	言語「ことばの単位・文節の関係」 随筆 体験に向き合い意味づける 書写						
8 月	説明文「1,000 円の価値を考える」						
9 月	古文「竹取物語」 古典の仮名遣い 故事成語「矛盾」 訓読の仕方						
10 月	記録「みんなでいるから大丈夫」の怖さ 詩「それだけでいい」						
11 月	言語「単語の類別・品詞」 小説「トロッコ」						
12 月	小説「トロッコ」						
1 月	説明「意味と意図」						
2 月	小説「少年の日の思い出」						
3 月	「文法のまとめ」 問題演習 書写						

教科 科目	社会 1	学 年	1 年	単 位	4 単位	担 当	古賀 倫子
【科目の概要】 古くから人間は自然を活用し、あるときは自然を克服して生活をしてきました。自然条件は地域によって異なります。人間はこうした異なる自然に向かう中でさまざまな生活を生み出してきたのです。地理はさまざまな地域の自然条件を理解し、その自然と向き合ってきた人間のくらしを学ぶ科目です。そして、自然と向き合う中で人間がつくり出してきたものから、成果と課題を考える科目です。1 学年では、このうち、世界の諸地域と世界の中での日本をテーマとして取り扱いながら地理を学んでいきます。「歴史は過去と現在との対話である」ということばがあります。私たちが過去のできごとを学び、過去に対する理解を深めることは、私たちが生きる現代を過去に照らしてとらえ、現代から未来の社会をつくることにつながります。1 学年では、小学校で学んだ歴史の知識に新しい知識を加えながら、さまざまなできごとの原因と結果や影響を考え、歴史の流れとつながりを理解していきます。また、世界の中での日本を認識しながら日本の文化や伝統、「歴史的なできごと」をいろいろな角度からとらえることで、歴史に対する理解を深めていきます。							
【育成を目指す学力】 ・世界と日本の地域性と地域構造を理解するための基本用語を習得する力 ・基本用語間の関係を把握しながら、学習内容を整理する力 ・基本用語を具体的に使いながら、学習内容を説明する力 ・資料（地図・表・グラフなど）を読み取る力 ・学習内容を人間理解や地域理解、社会認識につなげる力 ・近世史前半までを理解するために必要な基本用語を習得する力 ・学習内容から得た人間観や社会観を評価する力							
【評価基準・評価項目】 ・学習した基本用語を正確に暗記し、表記できる（社 A①） ・基本用語間の関係を図式化し、単元の学習内容について整理できる（社 A②） ・基本用語を使って、単元の学習内容について説明できる（社 A③） ・単元の学習内容を通じて、各地域の「地域理解」「社会認識」の特殊性・普遍性を判断できる（社 B①②） ・各地域の「地域理解」「社会認識」について自分の価値観に照らして評価できる（社 B③） ・社会問題から解決課題を発見し、学習内容を活用しながら解決策を提示できる（社 C①～⑤） ・学習過程において地図、写真、グラフ、文章等の資料を読み取ることができる（社 A④） ・学習過程において必要な情報を収集し地図、写真、グラフ、文章等の資料として提示できる（社 B④、C①～⑤） ・学習成果を通じて、学習内容に関する習得、理解、活用状況を検証し、改善できる（社 A⑤、B⑤、C⑥） ・学習過程を通じて、地理・歴史学習の意義を理解し、興味・関心を喚起できる（社 C⑦）							
【年間指導単元・内容と学習活動】							
4 月 5 月	オリエンテーション （地理分野） 世界のすがた（大陸と海洋、地球儀と地図、緯度と経度） 日本のすがた（日本の位置、時差、領域、北方領土）、日本の都道府県 世界のさまざまな地域 世界各地の人々の生活と環境（寒帯～高山帯）						
6 月 7 月	（歴史分野） 人類の誕生と古代文明 日本の国のはじまり （縄文文化と稲作～大和政権、渡来人の活躍） 古代国家のあゆみと東アジア諸国				（地理分野） アジア州 （東アジア、東南アジア、南アジア、西アジア）		
8 月 9 月 10 月 11 月	平安の都と武士のおこり （平安京～平氏の政治と貴族の文化） 武家政権のはじまり				ヨーロッパ州 アフリカ州		
1 月 2 月 3 月	内乱と下剋上 （室町～武士の文化） ヨーロッパの世界進出				北アメリカ州 南アメリカ州 オセアニア州		

教科 科目	数学 1	学 年	1 年	単 位	5 単位	担 当	脇田 祥弥
【科目の概要】 数を初めて正・負にまで拡張し、数の概念についての理解を深めていく。数学のことばである数式を用いることの意義や方程式の意味を理解することで、数量の関係や法則を一般的に表現したり簡潔に処理できるようになる。また図形の観察・操作・実験や数量関係の具体的な事象を調べることを通して、直感的な見方や論理的な考察をする力の基礎を培っていく。							
【育成をめざす学力】 ① 学習の基盤となる基礎的・基本的な知識・技能を習得し、活用できる力（F, G） ② いろいろな問題の解決に向けて、根拠を明らかにし、筋道を立て、体系的に考えることのできる力（C, D） ③ いろいろな問題の解決に向けて、言葉や数、式、図、表、グラフなどの関連を理解し、活用できる力（A, B） ④ 学習活動を通して、自分の考えを説明、表現できる力。（E） ⑤ 数学を学ぶ意欲を高め数学的な見方や考え方のよさを実感し、それらを通して考えたり判断したりできる力（D）							
【評価基準・評価項目】 （知識・技能） ○正の数と負の数，文字を用いた式と一元一次方程式，平面図形と空間図形，比例と反比例，データの分析と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。 ○事象を数理的に数えたり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理する機能を身に付けている。 （思考・判断・表現） ○数の範囲を拡張し，数の性質や計算について考察したり，文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力，図形の構成要素や構成の仕方に着目し，図形の性質や関係を直観的に捉え論理的に考察する力，数量の変化や対応に着目して数量関係を見出し，その特徴を表，式，グラフなどで考察する力，データの分布に着目し，その傾向を読み取り批判的に考察して判断したり，不確定な事象の起こりやすさについて考察する力を身に付けている。 （主体的に取り組む態度） ○数学的活動の楽しさや数学のよさに気付いて粘り強く考え，数学を生活や学習に生かそうとしたり，問題解決の過程を振り返って検討しようとしたり，多面的に捉え考えようとしたりしている。							
【年間指導単元・内容と学習活動】							
4 月	第 1 章：正の数と負の数（1. 正の数と負の数、2. 加法・減法）						
5 月	第 1 章：正の数と負の数（3. 乗法と除法、4. いろいろな計算） 第 2 章：文字と式（1. 文字と式、2. 文字式の計算）						
6 月	第 3 章：1 次方程式（1. 一次方程式）						
7 月	第 3 章：1 次方程式（2. 一次方程式の利用）						
8 月	第 3 章：1 次方程式（2. 一次方程式の利用）						
9 月	第 4 章：比例と反比例（1. 比例）						
10 月	第 4 章：比例と反比例（2. 反比例、3. 比例と反比例の利用）						
11 月	第 5 章：平面図形（1. 平面図形、2. 作図、3. 円とおうぎ形） （発展）数の規則性						
12 月	第 6 章：空間図形（1. 空間図形、2. 立体の表面積と体積）						
1 月	第 6 章：空間図形（2. 立体の表面積と体積）						
2 月	第 7 章：資料の整理とその活用（1. 資料の整理とその活用） 2 年生の教科書 第 1 章：式の計算（1. 式の計算）						
3 月	2 年生の教科書 第 1 章：式の計算（1. 式の計算） および 1 年生の総復習						

教科 科目	理科 1	学 年	1 年	単 位	4 単位	担 当	廣田 裕枝
【科目の概要】 〈いろいろな生物とその共通点〉 植物や動物の調べ方の基礎を身に付け、その働きや種類についての理解を深めます。 〈身のまわりの物質〉 固体、液体、気体、水溶液について学び、身の回りの物質についての化学的な理解を深めます。 〈光・音・力による現象〉 光や音の規則性と、力の表し方・力のつり合いについて学びます。 〈活きている地球〉 大地の活動と地震や火山などを関連付けて学び、大地の変化についての認識を深めます。							
【育成をめざす学力】 (1) 理科の基本的な概念や原理・法則などの理解 (2) 科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能 (3) 身近な現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験する力 (4) 観察・実験の結果から規則性、関係性、共通点や相違点、分類するための観点や基準を見いだして表現する力 (5) 自然の事物・現象に進んで関わり、見通しを持ったり、振り返ったりするなど、科学的に探究する態度 (6) 文章、図、グラフ、表などを読み取る力 (7) 共同学習において、他者を尊重し、協力する態度							
【評価基準・評価項目】 知識・技能…身近な物理現象、身の回りの物質、いろいろな生物とその共通点、大地の成り立ちと変化についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、 科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。(評価材料：定期考査、小テスト、実技テスト) 思考・判断・表現…身近な物理現象、身の回りの物質、いろいろな生物とその共通点、大地の成り立ちと変化から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、規則性、関係性、共通点や相違点、分類するための観点や基準を見いだして表現するなど、科学的に探究している。(評価材料：定期考査、小テスト、実験・観察レポート、調べ学習や研究作品、プレゼンテーション) 主体的に取り組む態度…身近な物理現象、身の回りの物質、いろいろな生物とその共通点、大地の成り立ちと変化に進んで関わり、見通しをもったり、振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。(評価材料：授業中の取り組みや態度、振り返りシート、レポート、理科ノート、調べ学習や研究作品、小テスト、プレゼンテーション)							
【年間指導単元・内容と学習活動】							
4 月	〈いろいろな生物とその共通点〉 1 章 植物の特徴と分類						
5 月	1 章 植物の特徴と分類						
6 月	2 章 動物の特徴と分類						
7 月	〈活きている地球〉 1 章 身近な大地 2 章 ゆれる大地						
8 月	3 章 火をふく大地						
9 月	4 章 語る大地						
10 月	〈光・音・力による現象〉 1 章 光による現象						
11 月	2 章 音による現象 3 章 力による現象						
12 月	3 章 力による現象						
1 月	〈身のまわりの物質〉 1 章 いろいろな物質とその性質 2 章 いろいろな気体とその性質						
2 月	3 章 水溶液の性質						
3 月	4 章 物質のすがたとその変化						

教 科 科 目	音楽 1	学 年	1 年	単 位	1.5 単位	担 当	佐野智江
【科目の概要】							
週 1.5 時間の授業を通して、楽しく音楽の基礎を学びます。発声について、音楽鑑賞について、音符・記号について等、基本的な事柄の習得を目指します。楽譜については、ト音譜表が読めるように読譜練習をします。尚、授業の中では讃美歌も練習し、レパートリーを増やしていきます。							
【育成をめざす学力】							
・音符の名称、長さの割合、音楽記号・音楽用語を理解する力。 ・ト音譜表を読む力。 ・正しい発声でのびのびと歌う力。 ・想像豊かに音楽を鑑賞する力。 ・歌唱活動を通して自分を表現する力。 ・クラスメイトと仲間意識を持って音楽活動を楽しむ姿勢。							
【評価基準・評価項目】							
○知識・技能：音楽の構造の理解。歌唱、(器楽)、創作に必要な技能。(定期考査、実技テスト)							
○思考・判断・表現：旋律、速度、強弱、歌詞内容の知覚や工夫。(定期考査、実技テスト、創作活動)							
○主体的に取り組む態度：諸活動への意欲。(授業中の取り組みや態度)							
【年間指導単元・内容と学習活動】							
4 月	校歌を覚えよう 讃美歌に親しもう 音符や記号を覚えよう (演習プリント)						
5 月	曲の構成を感じ取って歌おう 「主人は冷たい土の中に」						
6 月	曲想の変化を感じ取りながら鑑賞しよう 「春」 実技テスト (歌唱)						
7 月	讃美歌コンクールに向けて 1 学期のまとめ 期末考査						
8 月	讃美歌コンクールに向けて						
9 月	讃美歌コンクールに向けて 情景を思い浮かべながら表情豊かに歌おう 「浜辺の歌」						
10 月	詩の内容と曲想との関わりを感じ取りながら鑑賞しよう 「魔王」 言葉を大切に歌おう 「赤とんぼ」						
11 月	言葉を大切に歌おう 「赤とんぼ」 クリスマス礼拝準備 (「ハレルヤコーラス練習」) 実技テスト (歌唱)						
12 月	クリスマス礼拝準備 (「ハレルヤコーラス練習」) クリスマスの讃美歌に親しもう 2 学期のまとめ						
1 月	日本に古くから伝わる箏の音楽を聴こう (鑑賞) 箏曲「六段の調」						
2 月	日本に古くから伝わる合奏を聴こう (鑑賞) 雅楽「平調 越天楽」 実技テスト (歌唱)						
3 月	学年末考査 1 年間のまとめ						

教科 科目	美術 1	学 年	1 年	単 位	1.5 単位	担 当	服部 夏子
【科目の概要】							
視覚表現の楽しさを味わいながら、イメージを視覚化する基本的な知識と技術を学びます。自由に描きながら絵の具の可能性を探ったり、空間を表現する面白さを体験したりします。また色の持つ不思議な効果についても学びます。							
【育成をめざす学力】							
・ 色・形で表現する際の基本的技術 ・ 自然物・人工物に目を向けその価値を見出し、その背景を想像していこうとする力 ・ 表現することに価値を置き有効な表現手段を探り、表現する力 ・ 道具・技法等を目的に応じて使いこなす力							
【評価基準・評価項目】							
・ 自然や身の回りの物から造形的な美しさを発見し、表現に結びつけることができる。（思考・判断・表現） ・ 主題を生み出し、豊かに発想し構想することができる（思考・判断・表現） ・ 美術の機能性と美しさの調和、美術の働きを考えることができる（知識・技能） ・ 多様な表現様式・方法を理解し、自己の表現に活かし、自らも工夫することができる（知識・技能） ・ 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく表現しようとしている。（思考・判断・表現） ・ 美術作品の美しさや面白さを味わい、それらを自ら意欲的に発見しようとしている。（主体的に取り組む態度）							
【年間指導単元・内容と学習活動】							
4 月	美術を知る						
5 月	鉛筆で描く						
6 月	人体を描く 全体と部分をとらえる						
7 月	明暗を描き分ける 水彩画の味わいを活かして描く・完成・鑑賞						
8 月	透視図法を学ぶ（一点透視図法と二点透視図法の基本と応用）						
9 月	奥行きのある空間を表現する						
10 月	線と色で奥行きのある空間を描く・完成・鑑賞						
11 月	形や色で伝えるさまざまな方法を学ぶ						
12 月							
1 月	色彩を学ぶ						
2 月	色の性質を学ぶ						
3 月	美しい色の使い方、用途に応じた配色のしかたを学ぶ						

教科 科目	保健体育 体 育	学年	1 年	単 位	3 単位	担 当	浦 元 久 美 子
【科目の概要】							
各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め、強健な心身の発達を促すとともに、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通して継続的に運動ができる能力と態度を育てる。 健康・安全や運動についての理解と運動の合理的実践を通して、健康の増進と体力の向上を図る。							
【育成をめざす学力】							
◇生涯にわたって計画的に運動に親しむ資質や能力。							
◇健康・安全管理能力							
◇体力向上。							
【評価基準・評価項目】							
・ 自己の能力に応じて、運動の技能を高め、技が円滑にできる。							
・ チームの課題解決を目指して、作戦を立て、練習やゲームの仕方を工夫することができる。							
【年間指導単元・内容と学習活動】							
4・5月	1 体育実技の受け方のオリエンテーション・安全教育 2 集団行動・体育祭の練習 ラジオ体操第2の練習（含）						
6月	3 体力テスト（握力・上体そらし・長座体前屈・反復横とび・50m走・立ち幅跳び・ボール投げ） 4 陸上・体づくり運動 ① 自重トレーニング・体幹トレーニング・コーディネーショントレーニング・リズムジャンプトレーニング・ヨガ②バトンパス③リレー大会④ 評価						
7月							
8月							
9月 10月	5 卓球 ①オリエンテーション・安全教育②グリップ、ストローク、サーブ ③ゲーム④評価						
11月	6 体づくり運動 ① シャトルラン測定 ②トレーニング作り・実践 ③評価						
12月	7 ハンドボール・Tボール ①オリエンテーション・安全教育②パス						
1月	③ドリブルシュート・ランニングシュート④攻防の練習						
2月	⑤評価 ⑥ゲーム						
3月	8 クラスマッチ練習						

教科 科目	技術・家庭 1	学 年	1 年	単 位	2 単位	担 当	高崎 和子
【科目の概要】 技術・家庭科では、よりよい生活をしていくために、生活に必要な知識や技術を理解し、実際の生活の中でいろいろな課題を解決する方法を学びます。生活するためには、知っているだけでなく、実際に手や体を動かして体験することが必要です。そのために実習を行い、その過程で生活を工夫し、創造する能力やものをつくる技術を習得します。また、生活の基盤である家庭の役割や、家族や周囲の人々の支え合いの大切さについて学び、周囲の人々との豊かなかかわり方を工夫したり、自分のくらしと環境のかかわりについて考えたりして、実践する力を養います。これらの学習を通して生活の自立と共生のための基礎的な考え方や知識・技術を身につけ、生活を工夫し、創造することが教科の目標です。							
【育成をめざす学力】 ・情報を収集し、活用する力 ・課題に対して様々な角度から考える力 ・自分の考えをまとめる力 ・生活の自立と共生のために必要な力 ・生活をよりよいものに改善していこうとする意欲や創意工夫する力							
【評価基準・評価項目】 ・家族や家庭、衣生活についての基本的知識を習得できている。 ・幼児や家族について理解し、すすんで交わろうとすることができる。 ・衣生活についての基礎技術を習得できている。 ・安全に配慮し、グループのメンバーと協力して実習を行うことができる。 ・学習内容に関するスクラップブックを作成し、その内容を要約して発表することができる。 ・必要な情報を収集し、自分の考えをまとめて発表することができる。							
【年間指導単元・内容と学習活動】							
4 月～ 8 月	「わたしたちの成長と家族・地域」 1. 家族・家庭生活での自立 (1) 家庭生活の協力・協働 2. 幼児の生活と家族 (1) 幼いころの振り返り (2) 幼児の体の発達 (3) 幼児の心の発達 (4) 幼児の 1 日の生活 (5) 支えられて身につける生活習慣 (6) 幼児の生活と遊び (7) 遊びを豊かにする物 (8) 幼児との関わり方の工夫						
8 月～ 9 月	(9) 幼児との関わりを生活に生かす (10) 子どもにとっての家族 3 持続可能な家庭・地域生活 (1) 家族との関わり (2) 家族や地域の高齢者との関わり (3) 地域での協働を目指して 「私たちの衣生活」 1. 衣服の選択と手入れ (1) 衣服の役割 (2) 私らしさと T.P.O (3) 日本の衣服の文化 (4) 衣服の手入れ①						
10 月～ 12 月	(5) 衣服の手入れ② (6) 衣服計画と必要な衣服の選択 2. 生活を豊かにするために (1) 作って楽しい布作品						
1 月 ～3 月	3 持続可能な衣生活 (1) 持続可能な衣生活を目指して						

教科 科目	英語 1	学 年	1 年	単 位	6 単位	担 当	宇高かれん 天野ムチャレジス
【教科・科目の概要】 英語は世界の共通語です。英語が使えるようになることで、皆さんの世界が広がっていくことはまちがいありません。英語の学習を通して、世界に目を向け、様々な国の文化や思想の違いについて理解を深めると共に、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、実践的コミュニケーション能力の基礎を養います。6 単位のうち、2 単位をオールラウンドコミュニケーションの授業とし、クラスを 2 つに分けて、少人数のクラスで、ネイティブ教師と日本人教師がそれぞれ別々に、英語を聞いて即座に英語で答えることのできる力を養っていきます。4 単位は、まず SSH (Sound Spelling Harmony) で、英語の発音の仕方、英語の音とつづりとの関係を丁寧に学習し、BB カードも使いながら英語学習の土台を築きます。2 学期から教科書を使って、語彙力、文法力をつけながら、英語で話したり、書いたりする活動を行います。							
【育成をめざす学力】 Reading 速くそして正確に英文の内容を読み取る力 Listening 目的をもって展開を予測しながら聴き、内容を把握する力 Speaking / Writing 身近な話題について自ら考え、積極的に英語で表現する力							
【評価基準・評価項目】 ・ Speaking : 趣味など自分のなじみのある話題に関して簡単な質疑応答をすることができる 日常生活や自分に関する質問に 3 秒以内で、英語で答えることができる ・ Writing : BB カードを活用し、簡単な英文を書くことができる ・ Reading : 教科書の英文を日本語に訳しながらであれば、内容を理解することができる 教科書の英文をスムーズに読むことができる ・ Listening : 英語にあって日本語にない「音」を聞き分けることができる 日常生活の身近な単語、数字、日付や曜日などを聞き、その意味を理解することができる ネイティブの先生の指示をだいたい理解することができる							
【年間指導単元・内容と学習活動】							
4 月	ブロック体大文字・小文字・アルファベットの家族分け・筆記体小文字・大文字						
5 月	子音のニックネームと母音（基本音・アルファベット音）・BB カード						
6 月	母音（アルファベット音・特別音）・BB カード						
7 月	SSH 発展編・BB カード・教科書 Program1・不規則動詞の活用表						
8 月	SSH 復習・BB カード・教科書 Program 2						
9 月	Program 2～3 一般動詞の文・助動詞・複数形						
10 月	Program 4～5・Reading 1 三人称・三単現の s・過去形・現在進行形						
11 月	Program 6～7・Reading 2・Project 1 目的格・疑問詞のある疑問文・There is 構文						
12 月	Program 8 現在進行形の文・英検 5 級対策						
1 月	Program 9 過去形の文・英検 5 級対策						
2 月	Program 10 be 動詞過去形・過去進行形						
3 月	総復習（まとめ）						

教科 科目	聖書	学 年	1 年	単 位	1 単位	担 当	塩屋 優子
【科目の概要】 ミッションの意味，聖書科で何を学ぶのかを知る。 キリスト教学校の土台となっているキリスト教の入門であり，キリスト教学校で学ぶことの意義を考える。後半はイエス・キリストの誕生から生涯の前期を学ぶ。							
【育成をめざす学力】 A. 聖書と教会を理解するための知識を習得し、整理する力。 B. 知識を活用（分類・分析）して聖書や教会を解釈する力。 C. 知識を活用（分類・分析）して自分自身の将来像を展望する力。							
【評価基準・評価項目】 ・キリスト教の入門的知識を理解し、身に着けている。 ・日常生活において生じる様々な問題について、聖書に基づいて考え、判断したり、自分の意見を述べることができる。 ・聖書の授業に興味関心を持ち、課題等に対して主体的に取り組み、課題を解決しようとしている。							
【年間指導単元・内容と学習活動】							
4 月	・ ミッションの意味 ・ 聖書科で何を学ぶのかを知る						
5 月	・ 礼拝とは何か，祈りとは何か ・ 主の祈りを覚える						
6 月	・ 賛美歌・聖書の成り立ちを知る ・ 教会とは何か						
7 月	・ 教会の三大祝日を知る ・ 教会の行事を知る						
8 月 9 月	・ 初めての聖書（旧約から新約へ）						
10 月	・ イエスの誕生の地理的背景 ・ 聖書のイエス誕生の物語の内容理解						
11 月	・ イエスの受洗 ・ 荒野の誘惑						
12 月	・ イエスの弟子たち ・ 最後の晩餐 ・ ゲッセマネの祈り						
1 月	・ イエスの十字架 ・ イエスの復活						
2 月	・ イエスのたとえ話 ・ 山上の説教						
3 月	・ 逆説の教え						

教科 科目	インテグレーション 1	学 年	1 年	単 位	1 単位	担 当	1 学年教師
【教科・科目の概要】 インテグレーションは、異なる教科の担当教師が協働で学年目標に沿った授業計画を作成して行う、本校独自の学校設定科目です。1 学年の学年目標である「相手を理解し、認めることができる生徒の育成」を実践していくために、自己理解から他者視点で物事をとらえることができるよう学習を進めます。軸になる教材として「エナジード CORE2. 1」を使用し、1 学期に Vol.1 「次の時代に求められる、人の力（考え方）」、2 学期に Vol.2 「描いた未来を実現する力（実現力）」、Vol.3 「他者の視界を描く力（他者視点）」について考え、学んでいきます。また、コラム学習や読解力育成プログラム、グループディスカッションやその発表も行い、学力の三要素である「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体的に学習に取り組む態度」を統合的に身につけていきます。							
【育成をめざす学力】 目的意識や課題意識をもって必要な情報を集めることができる力 情報を正しく理解し、整理することができる力、また、効果的に表現することができる力 他者の良さを認め、他者から学びながら協力して活動できる力 調べたことがらを効果的にまとめ、表現することができる力							
【評価基準・評価項目】 必要な情報を収集し、それを整理、理解することができる。 他者と協力しながら、テーマを設定し、課題解決に向けて取り組むことができる。 自分の考えを効果的に表現できると同時に、相手の意見に対しても客観的に評価できる。							
【年間指導単元・内容と学習活動】							
1 学期	エナジード CORE Vol.1 「次の時代に求められる、人の力」に取り組む 旧師謝恩の取り組みとして、小学校の先生にお手紙を書く 「自分について知ろう」のワークシートに取り組み、自分を知る コラム学習で文章の読解、正確な書き写し、意見書き、タイトル付けに取り組む						
2 学期	「自分について知ろう」のまとめ・発表 エナジード CORE Vol.2 「描いた未来を実現する力」 Vol.3 「他者の視界を描く力」に取り組む コラム学習で文章の読解、正確な書き写し、意見書き、タイトル付けに取り組む 読解力育成プログラムとして難易度の高い良質な文章の読解に挑戦する						
3 学期	グループディスカッションの方法を知り、意見をまとめる 効果的な表現方法で発表ができるようにする。 全体発表を通して、客観的な相互評価や批評ができるようにする。 コラム学習で文章の読解、正確な書き写し、意見書き、タイトル付けに取り組む						